

視覚障がい者サポート活動

グループ名 点訳グループ「もみじ」



活動場所	①大岡地域ケアプラザボランティアコーナー ②南区福祉保健活動拠点
活動日時	①第2・第4火曜日 10～12時 ②第3火曜日 10～12時
代表者	飯田 敏子
連絡先	南区ボランティアセンター
TEL	045-260-2531
FAX	045-251-3264
ボランティア人数	13人

活動目的・モットー

(発足のきっかけ) 地域ケアプラザ主催のブラインドメイト講習後、平成7年点訳グループ「もみじ」として発足。

(モットー) 手のあたたかさ、心の通うプライベートサービス、ボランティアの育成

活動内容・活動歴

活動内容)

- ・視覚障害者に配布される広報および各種文章の点訳、配布
- ・各地域ケアプラザの季刊紙の点訳
- ・小・中学校生徒を対象とする点字体験、教育指導
- ・各種イベントでの点字体験
- * どのような内容でもご相談にのります

活動歴) 平成7年10月発足

利用者の声

依頼した歌集の点訳により皆さんと一緒に歌える楽しみができました。少しのことでもすぐに対応してくれて助かった。



活動についてのQ & A (ボランティアメンバーの声)

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは？
いつ頃から？

A. ・退職後、広報等の募集で知り、以前から
点字に関心があったので。
・子どもの手が離れたので、少しでもボラン
ティアの手助けになればと思い。

Q. 活動を行う中で大変だと思うことは？
楽しいと感じることは？

A. (大変なこと)
・自身の体調が悪い時、負担に活動を感じる
時がある。
・勉強することが多いし、教えていただいた
ことを頭にいれたつもりがすぐに忘れる。
(楽しいこと)
・グループ仲間との情報交換、メンバーと協力
して行う達成感。
・勉強会での仲間との会話



Q. 活動をする中で気づいたことは？

A. ・個人情報の難しさ、家族・周囲の人の
ボランティアへの理解が必要なこと。
・障がい者との交わりを持ちたい。
・ボランティアメンバーの考え方が時代と
ともに変わってきている。

Q. 活動をはじめて良かったことは？

A. ・周りを見る眼が広がった。
・語句の難しさを知った。
・新しい仲間ができた
・頭の活性化の一助になっている。

ある日のグループ活動

会の活動日の様子

10～12時

- ・依頼文書等の下読み(分かち書き)
- ・文書中の読み方(人名等)の問い合わせ(依
頼元へ)
- ・視覚障がい者が読みやすいように検討

自宅及び活動日以外

- ・点訳開始・校正→修正→再度校正



ぜひ利用してみたい。
手続き・準備はどうすればいい？

- ・利用条件・手続き: 特になし
- ・利用料: 点訳については用紙代1枚5円。

ボランティア活動を一緒にやってみたい。
どうすればいい？

点訳活動には経験が必要なため、初めての
方は講習を受けてからになります。

(点訳経験者は可)

会費: 年3000円

定例会: 第2・4火曜日 10～12時